

花巻ファーマー

地場産の食材を食べてほしい。母ちゃんの味を召し上がれ



平野 たか子 さん
(東和町鷹巣堂 62歳)

◎母ちゃんレストラン つたの輪
【定休日】12月30日～1月3日
【営業時間】午前10時～午後3時
【場所】東和町安俵6-94「産直あおぞら」内

産直あおぞら(東和町安俵)に併設された「母ちゃんレストラン」つたの輪。この店長を務める平野たか子さんは、農村女性起業のさきがけとして同店をスタートさせたメンバーの一人です。

「つたの輪」が開店したのは平成6年2月。旧東和町内の喫茶店が閉店し、その店舗の活用を巡って、平野さんの所属していた「東和町生活研究グループ」連絡協議会に白羽の矢が立てられました。

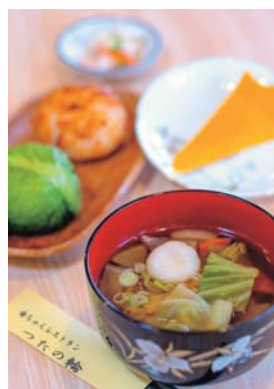
使うコメや野菜は当時から地場産のもの。自身が農家の跡取りということもあり、農業に対する使命感があったと平野さんは振り返ります。

「まずやってみるか」とカウンター8席で始めた「つたの輪」は現在26席。カボチャを使ったケーキや雑穀おにぎりを

など、同生活研究グループ員の「母ちゃんの味」が並びます。

お薦めはだまこ汁。コメを使った団子と野菜の優しい甘みがだし汁と合わさり、素材ながら深い味わいを楽しめます。

「地元には農家がある限り、なければならぬお店だと思ふ。これからも自慢の地元食材を発信できれば」と平野さんは目を輝かせます。



だまこ汁(手前)をはじめ、地元食材を使ったメニューが並ぶ

広げよう
活動の輪

市民活動団体紹介

市民活動を応援します
NPO法人 花巻市民活動支援センター

【問い合わせ】
NPO法人
花巻市民活動支援センター
理事長 葛巻 徹 さん
(☎080-6014-2966)



1 1月27日に開催したセミナー「東北における(コトハジメ)を考える」の様子



2 花巻市民活動支援センターの皆さん

「花巻市民活動支援センター」は、行政や企業と共に社会貢献活動に取り組む市民活動団体を支援する団体です。同団体は、市内の市民活動団体同士の交流や情報交換の場の提供を目的に設立した「花巻市民活動団体ネットワーク協議会」の事務局も務め、毎年「はなネット交流会」などを開催。市民活動団体や地域住民を対象とした地域活動セミナーや個別相談、情報発信を行うなど、多角的に市民活動を支援しています。また、同団体では、市から委託を受けて「地域づくりサポート業務」を実施。地域の課題解決に向けた助言や、コミュニティ会議の事業計画策定をサポートするなど、地域活性化に向けた支援を行っています。

市民生活コーナー

住宅の修理に関するトラブルに注意

■どんな相談があるの？

○「家の屋根や周辺を見せしてほしい」と業者が訪問してきた。「この前の台風で傷んだことにすれば加えて修理できる」と言うので住宅修理を契約した。保険金の範囲内で工事できるという説明だったが、支払われた保険金

が少なく、工事代金の不足分を請求された

○保険金の申請を代行すると勧められ、業者に住宅修理を依頼した。詳細な見積もりは提出されず「工事代金一式〇円」と、

保険金と同額が記載された契約書を渡された。工事は完了したが仕上がり粗末で金額に見合う内容ではなかった

■注意することは？

○業者の説明をうのみにせず、その場での契約は避

けましょう。まずは加入先の保険会社または代理店に相談してください

○▽契約書を提出しない▽「工事一式〇円」など簡単な見積もりしか提出しない▽契約を急がせるーなど、不審な業者は特に用心しましょう

■困ったときは？

○新館市民生活総合相談センター(☎24 2 1 1 1 1 内線259)へ

COLUMN:Health

健康コラム

スマホとの上手なお付き合い

今や私たちの生活に欠かせないスマホ(スマートフォン)。家庭内で使用上のルールを決めるなど、子どもの成長・発達に合わせて利用することが大切です。



●スマホ利用の目安

- ▷乳幼児…この時期はスマホとの接触(触らせる、見せるなど)を控える
- ▷小学生…ゲームは1日30分以内にするなど、親子で時間や内容のルールを決める
- ▷中学生…年齢に合わせて1日の利用時間などを決め、生活リズムが崩れるような使い方を避ける

●乳幼児にスマホが与える影響

言葉やコミュニケーション能力、目と身体の発達に影響があるといわれています。平面的な画像を見続けることで、立体視する能力が育ちにくなり、物の距離を測ることが難しくなります。さらに、スマホ利用の時間が増えることで歩く機会が減り、足の育ちなどにも影響が出るといわれています。

●中学生のスマホ利用による危険性

SNSやインターネットの利用が増えるため、スマホ依存や睡眠障害につながる危険性があります。さらに、知らないうちに個人情報を広めてしまったり、怪しいウェブサイトアクセスし、高額な金銭を要求されたりするなど、思わぬ危険や落とし穴があることも知っておく必要があります。

スマホばかりに頼らず、家族や友人との直接的な関わりを大切に、スマホと上手に付き合っていきたいでしょう。

【問い合わせ】健康づくり課(☎23-3121)



地域おこし協力隊

持続ある暮らしを実践している花巻
-農業分野担当 櫻庭伸也-

本年度、畑で野菜を収穫し、調理して味わう「畑でソトメシ」を実施しました。農家のこだわりに触れながら、みんなでおいしく食べる活動は大変好評で、参加できなかった人からも「参加したい」といった声を多数いただきました。

さらに、活動前には想像もできなかった展開になり、ブース出展やラジオ出演のほか、ゲスト講師として「これから活動する人たちに伝えてほしい」と声を掛けてもらい、貴重な体験もさせていただきました。困難なことでも「やりたい」と思ったことに挑戦し、「カタチ」にする大切さ

を学ばせていただきました。関わった多くの人たちに感謝しています。

花巻で暮らし始めて2年以上



「畑でソトメシ」の参加者の皆さん

たち、地域おこし協力隊としての任期は残り8カ月となりました。これまでに▷都会にはなかった自然と共生した考えや暮らし▷ないモノは買うばかりでなく自分で作る▷困っている人がいたらみんなで協力して手伝う姿ーなど、これからの世界に求められる「持続ある暮らし」を花巻で感じてきました。

残りの任期中で考えている活動は、私が感じている花巻の魅力をウェブサイトやSNSを通じて伝えていくことです。皆さんにとって花巻での暮らしがかけがえのないものだと思えるきっかけになれば幸いです。